

第 25 回全国中学生創造ものづくり教育フェア



文部科学省初等中等教育局長

望 月 禎

第 25 回全国中学生創造ものづくり教育フェアが開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

本フェアは、平成 12 年度に開始されて以来、中学校技術・家庭科における学習成果の全国規模の発表の場として、「ものづくり教育」の充実・発展に大きく寄与してこられました。本フェアの開催・運営に御尽力された全日本中学校技術・家庭科研究会並びに関係の皆様にご心から感謝を申し上げますとともに、深く敬意を表します。

生成 A I の発展などに象徴される、将来の予測が困難なこの時代においては、これまでの日本型教育の良さを受け継ぎながら、「令和の日本型学校教育」を持続可能な形で継承・発展させることが重要です。すなわち、一人一人の子供たちが自分の良さや可能性を伸ばし、多様な人々と協働しながら、主体的に社会の形成に参画していく能力を身に付けていくことが求められています。

特に、技術・家庭科は、生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を子供たちに育むことを目標とするものであり、これからの社会を担う子供たちにとって、欠かすことのできない学習であると言えるでしょう。

こうしたなか、今年度も 6 つのプログラムに対して、全国各地の中学生の皆さんによる数多くの素晴らしい作品が寄せられたと伺っています。生徒の皆さんは、作品を製作する過程で、自ら課題を見出し、試行錯誤を繰り返しながら、根気強く課題解決に取り組んでこられたことと思います。今回の活動を通して学んだ知識や得た経験は、皆さんにとって、かけがえのない財産となります。これからも、ものづくりへの意欲と関心を持ち続けながら、技術と創造性、探究力に磨きをかけていくことで、持続可能な社会の創り手として、皆さん一人一人が豊かで幸せな未来を切り拓いていかれることを心から期待しております。

先生方におかれては、各学校において、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善等を行いながら、創意工夫を凝らした教育実践を展開するなど、熱心に御指導いただいていることに御礼を申し上げますとともに、今後もより一層の愛情と熱意を持って、教育活動の充実にご尽力いただくことを期待いたします。

結びとなりますが、本フェアの今後ますますの御発展と、御参加の皆様の一層の御活躍を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。